

【榎本館長からのメッセージ】

あつい！暑い！熱い！夏!! 今年の夏は特に各地で異常気象による事象が目立ち、河川の氾濫・土砂崩れ・竜巻等の発生などの被害が目立ちます。世界的には大雪・洪水、南極大陸に至っては巨大な亀裂が入り、棚氷の崩壊が懸念されるなど、温暖化の影響と思われる事象が多く見られます。身近な温暖化による影響といえば、やはり「熱中症」でしょうか。毎日の様に耳にするキーワードとなりました。これからが夏本番。もっと暑くなりますので、体調管理には十分にお気を付けください。

さて、熱帯植物館では恒例の夜間開館と、スクール体験が始まりました。今年は例年にも増して植物の状態が良く、元気な姿をお見せしています。「暑いから行くのはチョット…」という方は、少し涼しくなる夜間開館へ是非お越し下さい。 館長



季節イベントの紹介 (イベント・展示担当：関)

夏休みはイベント盛りだくさん！「食虫植物と熱帯のいきものたち展」は、自由研究のテーマ探しに最適。関連イベントにぜひご参加ください！夜咲きの花が見られる「夜間開館」を今年も開催いたします。昼間と違った植物館をお楽しみください。また植物の中で音楽を楽しむなら「我那覇美奈スペシャルライブ」「ハリウッドダンスステージ」を！

夏の日の一日を昼から夜まで植物館でお過ごしください。

【8月のイベント】 企画展「食虫植物と熱帯のいきものたち展」(7/19～8/27)

企画展関連イベント「食虫植物の捕虫実験」(7/29、8/5、6) 「昆虫の標本をつくろう」(8/11)

「食虫植物の栽培相談会・即売会」(7/29、8/5、6)

「夜間開館 2017」(7/22、28・29、8/5、11・12、19、25・26)

※夜間開館は各種イベントを開催いたします。

《ゆめねつオンステージ 2017》「夢熱落語会」(7/29) 「ハリウッドダンスステージ」(8/19) 「我那覇美奈スペシャルステージ」(8/26)

《季節イベント》「ウィークエンドコンサート」(8/5、19) 「森の学校」(8/5) 「ハーブの学校」(8/6) 「ミニプラネタリウムづくり」(8/13)

「熱帯スクール体験」(8/27 までの土日祝)

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館にお問い合わせください

館内で見られる植物の紹介 (植物館植栽担当：横平)

大温室では、小笠原諸島にしかない固有種その他、普通に自生している植物も多く紹介しています。その中に「台湾ハマオモト」という植物があります。

台湾ハマオモトが属するハマオモト属は常緑多年草で、海岸によく自生し、葉の様子がオモト(万年青)に似ることから、「ハマオモト(浜万年青)」と名づけられました。現地では、オオハマオモトやオガサワラハマユウの名前で知られます。小笠原諸島の他は、琉球諸島から台湾、中国にも分布しています。

この葉は幹の上部から2メートル近くにも生長し、草丈は1.5メートルになります。潮風に強いので、砂防用に植栽されたこともあったようですが、現在は主に観賞用として植栽されています。

小笠原諸島では花期は6～7月、ここでは屋内で冬季でも暖かいせいか夏を中心に周年で開花します。花期になると、花茎が葉と葉の間から伸びてきて、葉よりも高くなります。花茎は太く、少し扁平になっています。花が開くのは夜で、花の色は白色、このときに特に芳香が強くなります。花は昼間でもご覧いただけますが、香りを楽しむには夜間がお勧めです。7、8月に開催される夜間開館では、暗闇の中に咲く白い花とすっきりとした甘い香りをお楽しみいただけます。



▲ 全体

台湾ハマオモト (ヒガンバナ科)

▼ 花



今月の花と実



▲ ホウガンボク



▲ ハス



▲ レンブ

♪ この時期の人気者 ♪

この時期、花の形に注目してほしいのが「ホウガンボク」。受粉生物を誘う突起が独特。磯の生物ウミウシに似てる?! 外の庭では「ハス」や「睡蓮」が急成長。儂い美しさで見る人を魅了します。見頃の果実といえば、バナナ、パイナップル、そしてレンブ。ぴちぴちの艶やと房なりの豊饒さは見応え有り!!

【サマー入券】団体不可  
コーヒータウン  
一杯無料  
8/1～8/31